

地域と連携した海岸イベント 「砂 ASOBeach」

2023 年度 事業報告書

2024 年 3 月
B&G 財団 事業部海洋センター・クラブ課

【事業目的】

日本は、海から多くの恵みを楽しんできたが、学校や地域において海の大切さ・魅力を十分に伝えきれず、近年は海水浴人口の減少など「海離れ」が加速している。そこで、全国の学校や海洋センター・クラブ所在自治体などの地域と連携し、気軽に楽しみながら「海の日」や「海の安全」などについて学ぶ機会を提供することで、「海」に対する理解促進を図り、海離れの解消の一助とする。

【事業内容】

実施内容：全国18カ所（新規6カ所、継続12カ所）において、海水浴場や湖沼の岸辺等で、砂浜や水辺で楽しく遊べるイベント「砂ASOBeach」を開催し、海への理解を深めるとともに、海に親しむことによって、海離れの解消に繋げる。

実施期間：2023年6月～2023年11月

実施場所：新規開催地 6カ所及び継続開催地 12カ所

【イベント内容】

①砂 ASOBeach in 横浜

日 時：令和5年8月12日・8月19日

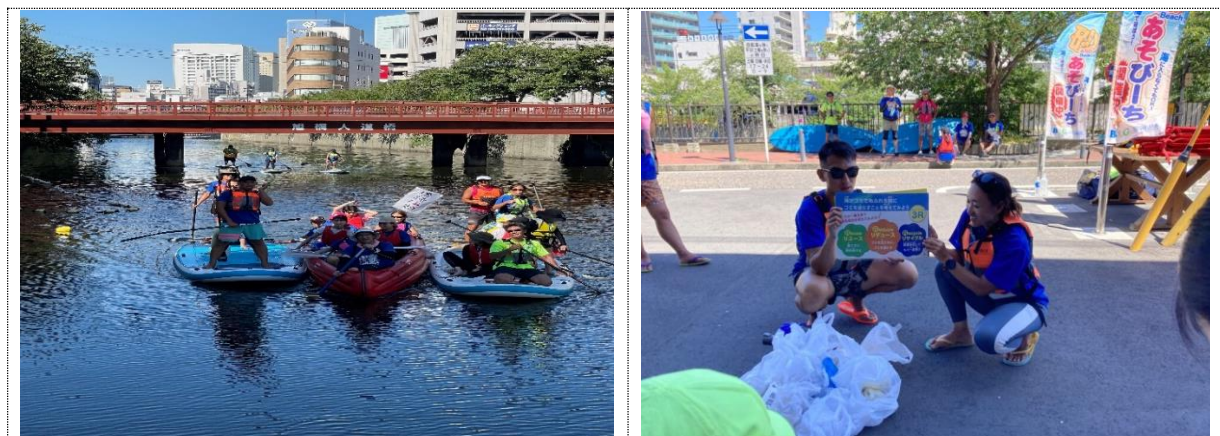
場 所：大岡川桜栈橋

参加者：362名

実施内容：水辺の安全教室・PET ボトルキャスティング・YOGA 体操・BIGSUP 体験会・E ボート体験・大岡川生きもの体験

事業成果：最初に参加者に向けて川で遊ぶ際の注意事項や対処法について学び、その後体験イベントを実施した。穏やかな流れの川での実施ということもあり、参加者は水に怖がる様子もなく水上での活動に充実している様子だった。

【実施風景】





②砂 ASOBeach in 浜島

日 時：令和5年8月20日

場 所：志摩市浜島海浜公園

参 加 者：639名

実施内容：サンドアート・水辺の安全教室・ビーチヨガ・カヌーSUP体験・水鉄砲バトル・ライフジャケット浮遊体験実施風景

事業成果：地元海上保安庁やライフセービング団体の協力のもと、約40名のスタッフによりイベントが実施された。参加した子供たちからは「海でこんなに沢山のプログラムを体験することは初めて」「夏休みの最後に充実した夏を過ごせた」「また来年も開催してほしい」などの声があった。

【実施風景】



③砂 ASOBeach in 長島

日 時：令和5年9月16日

場 所：小浜海水浴場

参加者：686名

実施内容：水辺の安全教室・カヌーSUP体験・ビーチフラッグ・バナナボート・水上ごご走り実施風景

事業成果：長島町は四方が海に囲まれた場所にあるが、海に親しむ機会が年々少なくなっている中での開催となった。プログラムの中でも、特に「水上ごご走り」や「バナナボート」が人気を博し、海での楽しさを体験する良い機会となった。

【実施風景】



④砂 ASOBeach in 函館

日 時：令和5年8月11日

場 所：函館市緑の島

参加者：394名

実施内容：ビーサン飛ばし選手権・水辺の安全教室・SUP体験・スポーツチャンバラ・カヤック体験会・競技用舟艇体験会

事業成果：参加者は事前にチラシを配布した近隣の小学校の生徒やその家族が多数を占めた。函館は海に接しているが、カヌーやSUPを体験する場所は限られているため海を体験する貴重な機会となった。

【実施風景】



⑤砂 ASOBeach in 別府

日 時：令和5年7月17日

場 所：関の江浜海水浴場

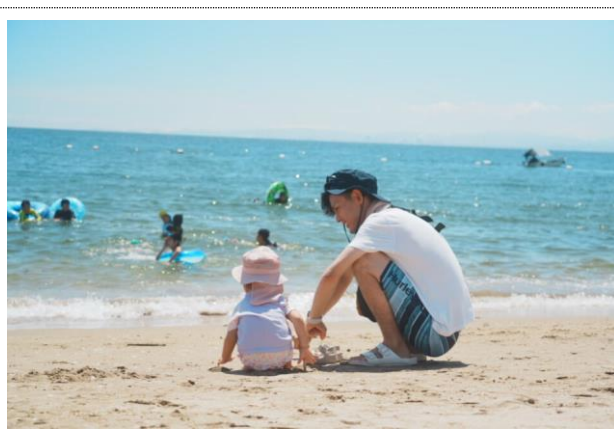
参加者：1,077名

実施内容：ハンザヨット・SUP体験・ビーチヨガ・スケボーパーク・湯煙クルーザー・ビーチサッカー・ダイビング体験・ウィンドサーフィン体験・釣り大会

事業成果：関の江海水浴場の海開きに合わせてイベントを実施した。参加者人数は全開催地の中で1位を誇り、多くの地域住民が海に親しむ場となった。実施プログラムも多岐にわたり、無料で体験できるため、参加者は時間が許す限り繰り返し体験を行う様子が見られた。

【実施風景】





⑥砂 ASOBeach in あくね

日 時：令和5年7月17日

場 所：大川島海水浴場

参加者：597名

実施内容：クリーン活動・ビーチフラッグス・カヤック体験他マリンスポーツ体験・水辺の音楽教室

事業成果：拾い箱事業のお披露目会と併催して行った。参加した子ども達や保護者に海の環境問題について学んでもらった上で海に親しむプログラムを実施し、より海に対する理解・興味を深める機会となった。

【実施風景】



